

We Love Suita Osaka
みうらネット

おおさか☆ 吹田 元気宣言!



大阪府議会議員 三浦とし子

2010年2月号 No. 47

〒564-0041 吹田市泉町5-15-22
TEL:06-6190-6877 FAX:06-6190-6511
■URL <http://miura.fugi.jp>
■E-mail miura@komei-fu.com

大阪府議会2月定例会が開会 (2/23~3/24) 大阪の活性化めざし論戦を展開!

大阪府議会2月定例会が2月23日に開会、3月24日の閉会日まで開催され、平成22年度当初予算のほか、府政の重要課題について議論が行われます。

【予算は前年度比7.1%増】

橋下知事から提案された平成22年度一般会計予算案は、総額3兆9,184億円。基金からの借り入れを整理する経理上の操作を除いた実質ベースでも3兆2,555億円となり、前年度比7.1%増となっています。

【税収の落ち込みは深刻(前年度比15%減)】

深刻な不況の影響で、府税収入は9,788億円(前年度比15%減)で24年ぶりに1兆円を割っています。特に、法人2税は2,051億円(38%減)でピーク時(平成元年)の4分の1以下に落ち込み深刻な状況です。

【人件費や建設事業費を抑制しても、なお財源不足】

不足する財源を確保するために、やむなく臨時財政対策債を3,200億円分発行しています。一般会計の府債残高は5兆2,491億円となり、3年ぶりに5兆円を超えています。

【橋下知事提案の主な施策】

- ① エコカーの普及(急速充電、天然ガス充填設備の整備)
- ② バイオ産業の振興
- ③ 公立小学校校庭の芝生化
- ④ 障害者雇用の推進
- ⑤ 泉北ニュータウンの再生
- ⑥ 府立高校の授業料無償化
- ⑦ 私立高等学校の就学支援
- ⑧ 学力向上プロジェクト支援事業
- ⑨ 中小企業向け融資の充実 等



【府民が苦しいときこそセーフティーネットの構築を!】

健全な財政をめざし改革を進めることも大事だが、府民が苦しいときこそ、行政は府民を守るために、行政は役割を果たさなければならない。我が党は、府民の目線で、あらゆる分野でのセーフティーネットの構築をめざして、論戦を展開してまいります。

議会の模様は、大阪府議会ホームページで動画中継しています。
http://www.pref.osaka.jp/gikai_giji/toppage/index.html

女性特有のがん対策、強化を急げ！

石川ひろたか青年局次長、女性局が橋下知事に要望



(右から3人目が、石川ひろたか青年局次長)

石川ひろたか青年局次長と党大阪府女性局のメンバーは、橋下徹大阪府知事に対し「女性特有のがん対策の推進を求める要望書」を提出した。

要望内容は、①子宮頸がん予防ワクチン接種の公費助成・定期接種の実施を国に要望すること。②乳がんと子宮頸がんの無料クーポン事業の円滑な継続実施。③がん検診手帳の配布、検診率向上とがん予防対策の推進。④がん検診者に対応できるマンモグラフィ機器整備及び技術者養成の拡充

要望に対し、知事からは「今までも公明党の強力な後押しがあり、府として来年度、がん対策に力を入れたい。行政だけでは施策の周知に限界があるので、公明党の力を是非、お借りしたい。」との発言があった。

《ちょっと一言》

先日、摂津市の地域子育て支援センターに吹田市、摂津市の市議員6名で親支援プログラム事業の視察に伺った。臨床心理士の白山真知子先生が中心となり、子育てに関する様々な状況に応じたプログラムを実施されていた。もとより、摂津市には摂津市子育てセフティーネットが各種連絡会や協議会等で構築されているので、この親支援プログラムも実効性のある内容となっていることが理解できた。しかし、なによりも、白山さんという存在の強さだ。情熱的に事業にしっかり取り組んでいらっしゃる職員が存在する市町村は、その事業効果は市民にとって直接、間接的にも、大きく反映される事になる。昔、「県庁の星」？という、映画があった。その星が何人であるかは、その首長の裁量か、大阪府は22年度より、地方分権改革を強力に推進する為、102項目に渡り許可等の権限を市町村に委譲していくこととしています。更なる市町村の力量が問われる時代になってきました。大阪府は将来、解体するという事であるなら、市町村にしっかり人材を残す仕組みづくりが求められているのではないかと思います。